

めぐみさんから  
奪われたものは何か

# 授業の概要 について

# 1 授業の目的

① 基本的人権や個人の尊重の原理に  
関心を持ち、進んで追究しようと  
する意欲を持つこと。

② 拉致問題をとおし、個人の尊厳  
と人権尊重の意義について、理解  
を深めること。

## 2 授業の特色

- ① 「めぐみさんから奪われたものは何か」という視点を示した、北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の視聴。
  - ② 自分に引き寄せて考えるために、めぐみさんから奪われたもの（権利）と、自分達がこれからやりたいことを対比する。
  - ③ 「横田夫妻の印象に残った一言は何か」という視点を示した、「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」の視聴。



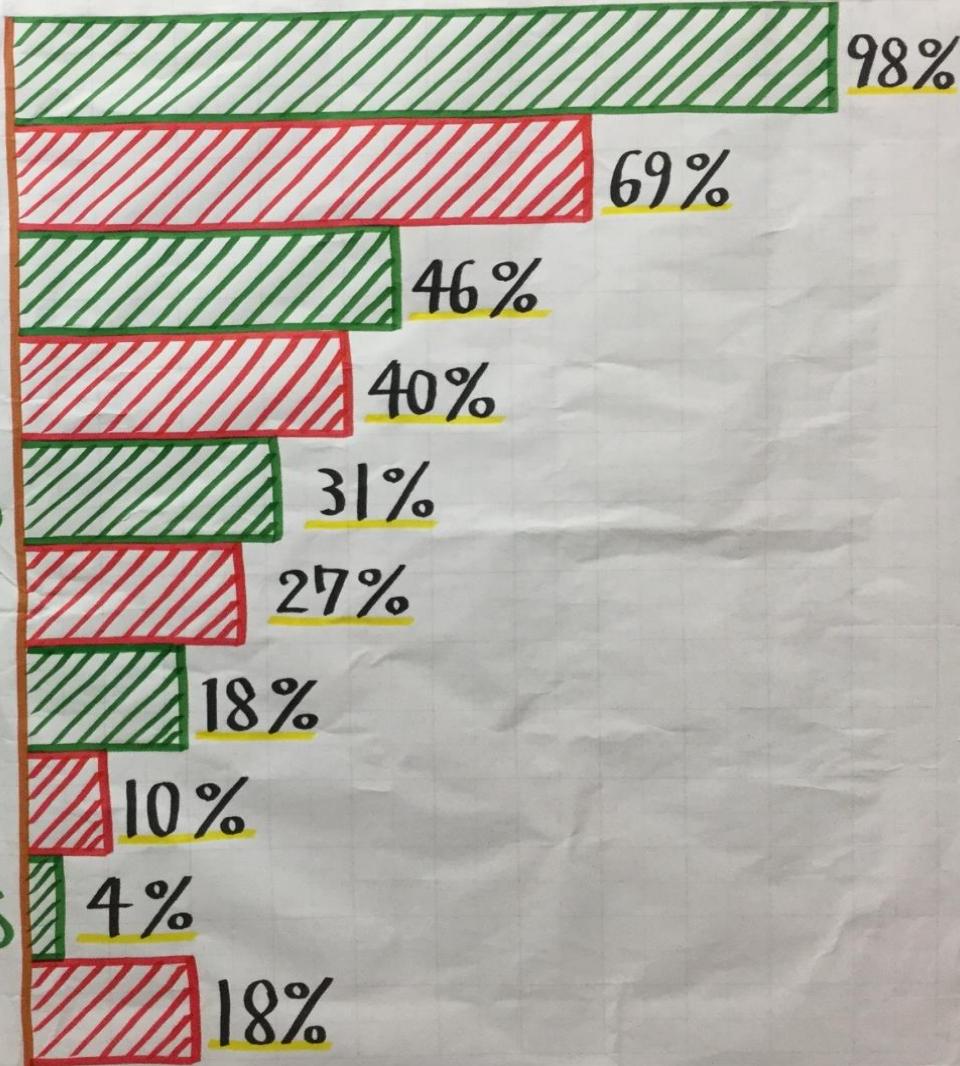
出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)

出典：DVD「横田滋 星紀江さんからのメッセージ」

### 3 事前アンケート「これから的人生でやりたいこと」

これから的人生で、やりたいことは何ですか？

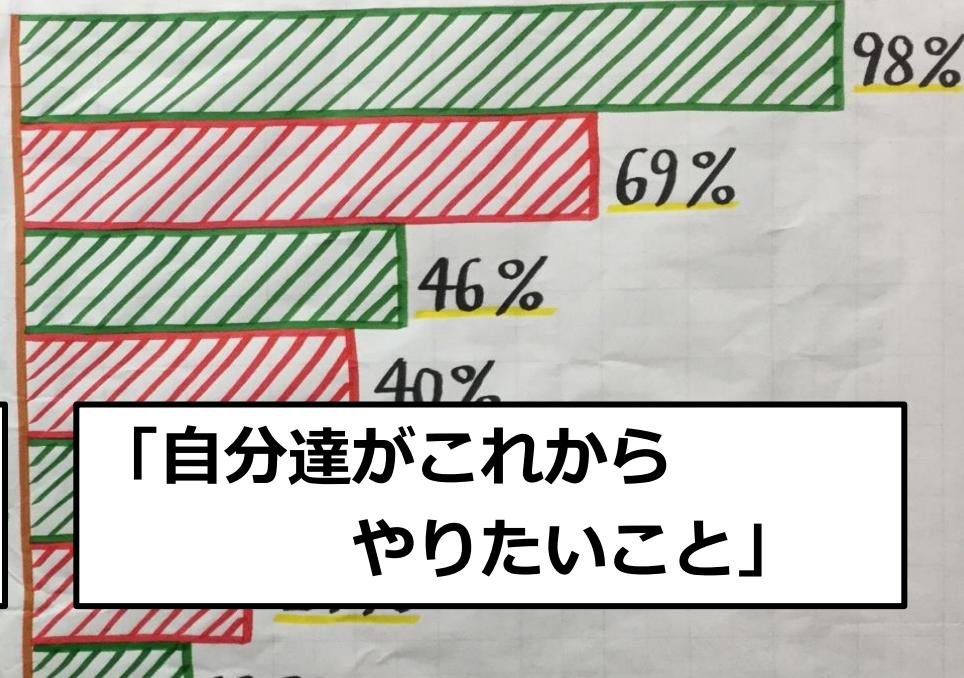
- ① 趣味
- ② 友達と遊ぶ
- ③ 家族と過ごす
- ④ スポーツ
- ⑤ おいしい物を食べる
- ⑥ アルバイト
- ⑦ 勉強
- ⑧ 恋愛
- ⑨ 高校で友達をつくる
- ⑩ その他



## 4 事前アンケートのねらい

これから的人生で、やりたいことは何ですか？

- ①趣味
- ②友達と遊ぶ
- ③家族と過ごす
- ④スポーツ



「横田めぐみさんから  
奪わされたもの（権利）」

「自分達がこれから  
やりたいこと」

- 一致することに気が付かせる。
- めぐみさんに起こった出来事を  
自分に引き寄せて考えさせる。

# 授業の実際 について

## ① 導入

## ② 展開

## ③ まとめ



日本政府は、北朝鮮に対し、認定の有無にかかわらず全ての拉致被害者を一刻も早く帰国させるよう強く求めています。

政府 拉致問題対策本部

お問い合わせの方、お問い合わせ、質問窓口は、  
電子メールアドレス: [g-machi@cas.go.jp](mailto:g-machi@cas.go.jp) FAX 03-3581-8611 E-mailを聞いてください。  
ホームページアドレス: <http://www.rachi.go.jp> TEL 03-3581-8698

横田めぐみさんの  
ポスターを見て、  
北朝鮮による拉致問  
題への関心を高めた。

出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)

## ① 導入

## ② 展開

## ③ まとめ



約40年前に、（当時）同じ中学生だった横田めぐみさんが、北朝鮮によって拉致された事件があったことを簡潔に伝えた。  
→ アニメ「めぐみ」の視聴に繋げる。

## アニメ「めぐみ」の視聴



出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)

視聴後に考える

課題「横田めぐみさんから奪われたものは何か」

をあらかじめ提示した。

→ ポイントを絞った視聴になるよう、工夫した。

## 自身の考えをまとめる



出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)



視聴後は、

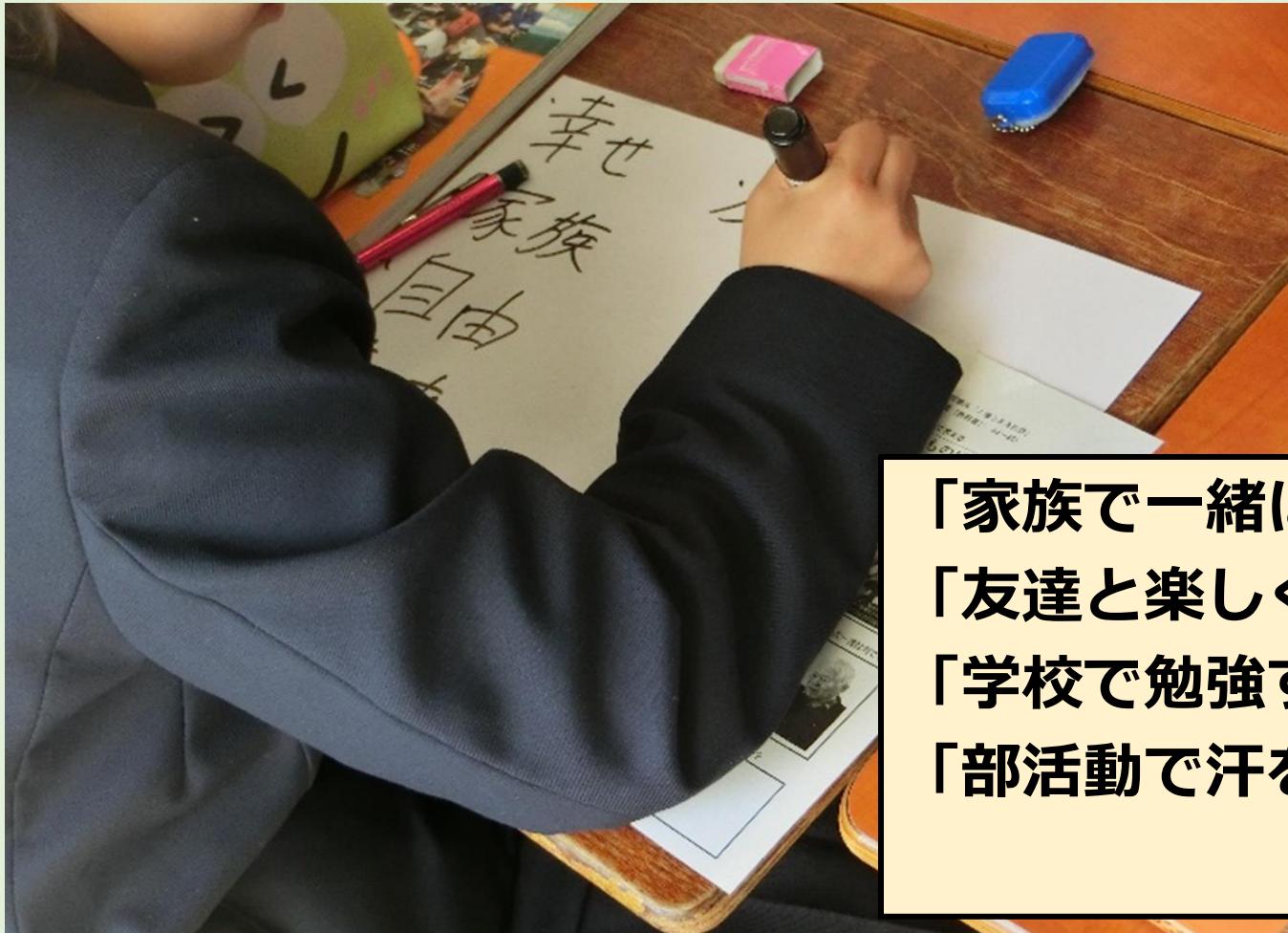
課題 「横田めぐみさんから奪われたものは何か」

に対する自分自身の考えをまとめた。

※DVDは全て視聴せず、めぐみさんが拉致された場面までとした。

## 小グループでの話し合い

「各自が考えたものを小グループで発表・共有」



「家族で一緒に暮らすこと」  
「友達と楽しく遊ぶこと」  
「学校で勉強すること」  
「部活動で汗を流すこと」  
等が挙がった。

## ① 導入

## ② 展開

## ③ まとめ

# クラス全体での共有

グループで共有した意見をホワイトボードにまとめ、黒板に貼った。

→ 7班分（計8枚）のホワイトボードを、クラス全体で共有した。

① 家族と過ごす時間  
② 学校生活  
③ 将来・夢  
④ めぐみさんにとっての幸せ  
⑤ 笑顔

2班

・めぐみさんとその周りの人たちの幸せ  
・めぐみさんの将来  
・家族と友達  
・生きる自由、楽しむ自由

自由、愛、時間、幸せ  
人生、家族との思い出  
人権、将来の選択

3班

・幸せ　・友達  
・家族  
・自由  
・未来（これから楽しみたい生活）

・家族や友だちと過ごす時間  
・好きな事をして暮らす自由  
・めぐみさんの人生  
・笑顔

家族と過ごす時間、幸せ

6班

・時間　・家族　・幸せ  
・部活、仲間　・自由  
・友達　・普段の生活  
・未来

・幸せ  
・人並みに生きる生活  
・家族　・友達　・自由

めぐみさんから  
奪われたものは  
何か

## ① 導入

## ② 展開

## ③ まとめ

# クラス全体で深める

これから的人生で、やりたいことは何ですか？



①家族と過ごす時間  
②学校生活  
③将来・夢  
④めぐみさんにとっての幸せ  
⑤米蘭

めぐみさんとその周りの人たちの  
幸せ  
・めぐみさんの将来  
・家族と友達  
・はな

自由・愛・時間・幸せ  
人生・家族との思い出  
人権・将来の選択  
3班

めぐみさんから  
奪われたもの

・幸せ  
・友達  
・家族  
・自由  
・未来 (これから楽しい生活)

・時間・家族・幸せ  
・部活・仲間・自由  
・友達・普段の生活  
・未来

「(自分達が) これから的人生でやりたいこと」と  
「めぐみさんから奪われたもの」を比較した。

→ 二つが一致することに気が付く。

→ めぐみさんに起こった出来事を、自分に引き寄せて考えた。

拉致問題が、他人事ではないことを感じ取った瞬間

## クラス全体で深める

## 權利



「めぐみさんから奪われたもの」は、全ての人が自由に人間らしく生きていくために保障される基本的人権であることに触れた。

→ これまで学習した平等権、自由権、社会権などと関連している。

## 「横田滋・早紀江さんからのメッセージ」視聴



出典：DVD「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」

視聴する前に、映像の中から  
印象に残った一言を選ぶ よう、  
あらかじめ伝えた。

## 「横田滋・早紀江さんからのメッセージ」視聴

### 横田夫妻の言葉

みんなが一緒に暮らすことは、  
とても大切なこと

北朝鮮にいても、  
生きていてくれてよかったです

みんなで一緒に暮らせること  
が幸せなこと

誕生日にはプレゼントを  
渡していた

早く解決してほしい

一刻も早く、帰ってきてほしい

横田夫妻の言葉に注目させる。

→ 横田夫妻の想いを受け取り、共感していた。

## 自分の考えをまとめると



「拉致問題に対して、自分はどう向き合っていくのか」

について、自分の考えをまとめ、発表した。

## 自分の考えをまとめる

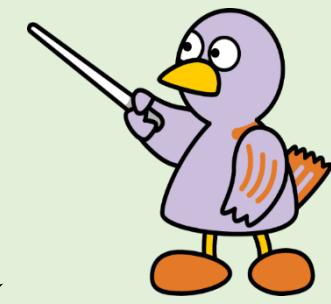
「拉致問題に対して、自分はどう向き合っていくのか」

### 生徒の言葉より

自分に関係のない話ではないと感じました。

家族の方がどれだけ苦しい思いをしているかと  
考えると胸が痛いです。拉致問題は絶対に解決し  
ないといけない問題だと感じました。他人の権利  
を侵害していいわけではないし、自分の立場に置  
き換えればわかると思います。

一人一人の言葉に力はないと思うけれど、言葉  
が集まれば、政府が動いて、解決へ一歩ずつ前進  
していけると思います。



埼玉県マスコット  
「コバトン」

## 最近の動向を学ぶ



新聞記事や写真などから、  
拉致問題の最近の動向を学んだ。

# ★ 資料から伝えたポイント

- ① 拉致問題は過去の問題ではなく、現在進行中であること
- ② 未だ安否の分からぬ拉致被害者がいること
- ③ 拉致問題は国家間の問題であり、北朝鮮の国民や在日韓国・朝鮮人の人々には責任はないこと
- ④ 拉致問題への関心が最も低いのは10~20代であること
- ⑤ 今後も考え続けていかなければならない問題であること

# 授業で扱った資料 (PowerPoint資料)

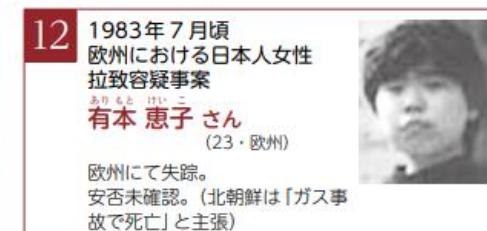
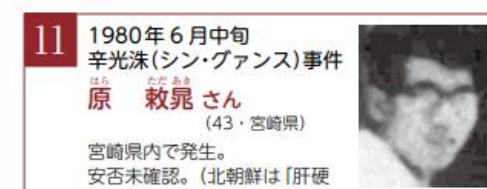
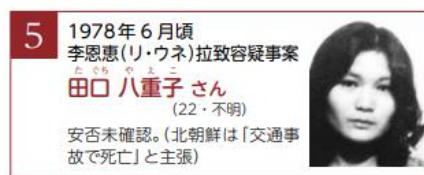
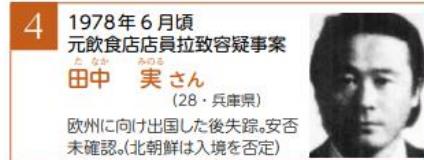
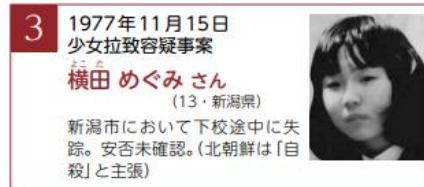
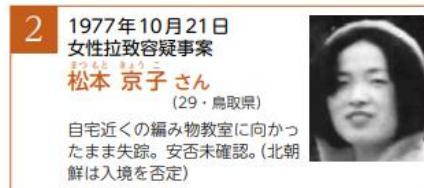
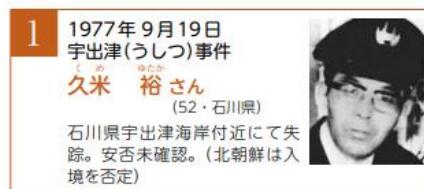
# 横田早紀江

同じように助けを求めている拉致被害者が  
たくさんいるのです。



出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)

# 全ての拉致被害者の帰国を目指す!



北朝鮮に住む一般市民の人たちを、  
憎んだり恨んだりしているわけではない。



出典：DVD「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」

# 家族会を結成（1997年）





# 岸田総理と拉致被害者御家族の面会

※当時

# バイデン大統領と 拉致被害者御家族 の面会

※当時



# 『外交に関する世論調査』（内閣府）

北朝鮮に対する関心事項に、  
**「拉致問題」**を挙げた人は・・・

60～69歳は、85.3%

30～39歳は、67.5%

**18～29歳は、64.9%**

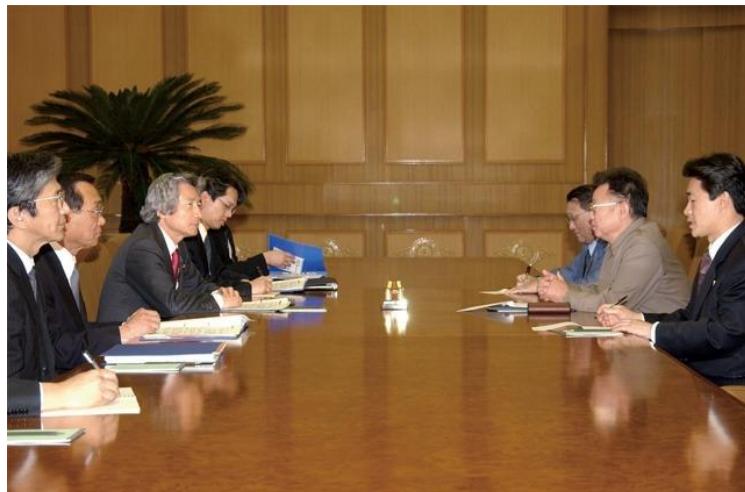
## 北朝鮮による拉致問題の経緯

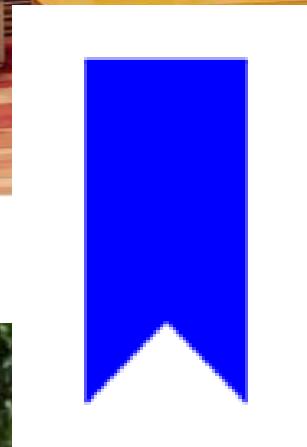
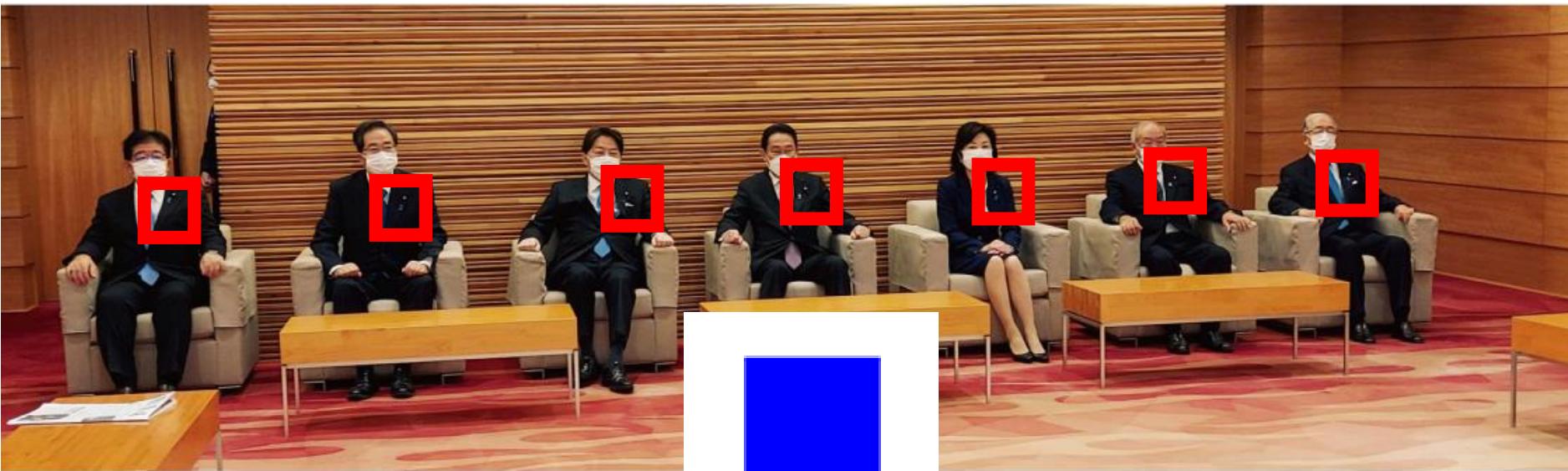
1977年11月	横田めぐみさん拉致。以降、80年代前半ごろまで拉致が相次ぐ
1997年2月 3月	めぐみさんの拉致疑惑が報道などで浮上 拉致被害者家族会結成
2002年9月	小泉純一郎首相が訪朝。北朝鮮が拉致を認め 「8人死亡、5人生存」と伝達
10月	拉致被害者5人が帰国
2004年5月 11月	小泉首相が再訪朝。拉致被害者の蓮池・地村 両夫妻の子ども5人が帰国 北朝鮮側がめぐみさんのものとする遺骨を 提出。翌日、日本政府が「遺骨は別人」と鑑定
2011年12月	金正日氏が死去。金正恩体制に
2014年3月 5月	横田滋さん、早紀江さん夫妻が、めぐみさんの 娘キム・ウンギョンさんらとモンゴルで面会 スウェーデンで日朝協議。拉致被害者らが 日本人の包括的調査で合意
2016年2月	北朝鮮の核実験とミサイル発射に対して日本 が独自制裁を決め、北朝鮮が日本人調査の中 止を発表

## 第1回 日朝首脳会談 (2002年9月)



## 第2回 日朝首脳会談 (2004年5月)





「取り戻す」ためのシンボルーブルーリボン

